

第9回 自治会の活動

こんな活動をしています。

1 安全安心なまちづくり

町内の防犯パトロールや子どもたちの見守りなどを行い、安全で安心できるまちづくりに努めています。

2 きれいで快適なまちづくり

町内の道路や公園などの清掃、草むしりなどを行い、快適なまちづくりに努めています。

3 元気で楽しいまちづくり

夏祭り・運動会・文化祭などいろいろなレクリエーション活動を行い、元気で楽しいまちづくりに努めています。



Q 自治会って何?どんな活動しているの?

A 自治会は地域に住んでいる皆さんに「この町に住んで良かった」と思ってもらえるように、協力し合っているいろいろな活動を行っている組織です。現在市内には285の自治会が組織されています。



知りたこといっぱい

ブルガリアとの交流の架け橋

敷島公園ばら園で5月19日、「ブルガリアバラ植樹式」を行いました。昨年秋にブルガリア共和国ヴェリコ・タルノヴォ市から寄贈されたバラの苗木を植樹したもので、春のばら園まつりに合わせて駐日ブルガリア大使も訪れ、本市とのさらなる交流を願いました。



本との一期一会を楽しむ

5月11日、市民提案型パートナーシップ事業「敷島。本の森」プロジェクトが開始しました。これは店舗や公園などに設置した箱に不要となった本を入れ、自由に貸し借りするもの。敷島公園周辺ではイベントも開催され、多くの人が本との出会いを楽しみました。



健康な体づくりのきっかけに

前橋保健センターで5月14日と23日に、健康スタイル講座(糖尿病・腎臓病編)を開催しました。参加者は、保健師・管理栄養士の講義や、おすすめ減塩一品料理の実習などを通して、生活習慣改善の大切さやポイントを楽しく学びました。



萩原朔太郎という人物とは

5月12日、前橋文学館で詩人・萩原朔太郎をしのぶ朔太郎忌を開催しました。文芸評論家・三浦雅士さんが講演したほか、詩の朗読やマンドリン演奏などを実施。また、新たに発見された資料が紹介され、参加者たちは萩原朔太郎の人物像に思いをはせていました。



アイデアを形にするのが楽しい



世界青少年発明工夫展で金賞

和地 南々子さん 14歳  
東中



5月9日から11日までにマレーシア・クアラルンプールで開催された「世界青少年発明工夫展」で、和地さんが考案した「みぞに落ちない車イス用タイヤ」が、金賞とインドネシア特別賞に輝いた。  
「初めて出場した世界大会で金賞を受賞することができて本当にうれしいです。家族もとても喜んでくれました」  
作品は、道路の溝にはまりにくいよう、車椅子用タイヤの車輪の両脇に一回り小さいラバー素材の補助輪を付けたもの。  
「父が一時的に車椅子生活をしていた時に、溝にはまって横転しそうになった経験から、アイデアがひらめきました」  
小4から児童文化センターの発明クラブに所属している。市の発明考案展で最高賞を受賞し、県で関東経済産業局長賞

励賞、全国で発明協会会長賞を受賞し、世界大会に出場した。  
「発明クラブでは、ひらめきや発想を形にする方法を学ぶことができました」  
現地では英語でのスピーチも経験。実演を取り入れながら説明を行った。  
「他の出場者との交流も貴重な体験でした。剣道の道着を身に付けて、日本の文化もアピールできました」  
現在、東中の3年生。好きな科目は社会。埼玉西武ライオンズの大ファンで、休日は家族で観戦に出掛ける。  
「将来の夢は報道関係の仕事に就くこと。そのためにも、いろいろな経験をしたいな」と笑顔で語ってくれた。持ち前の創造力を生かして、夢を実現させてほしい。

